

学校だより しずえ

甲斐市立双葉東小学校 平成22年6月11日号

聞いて、見て、体験して、楽しく学んだ！！～6年生修学旅行～

♪♪二度と帰らぬ思いで乗せて、クラス友達肩寄せ合えば・・・若い僕らの修学旅行♪♪ 私の小中学校時代にはやった（今でも歌い継がれている？）舟木一夫「修学旅行」の歌詞である。

5月26日(水)天気は曇り、その後晴れてくる予報である。6:15の集合時刻前には全員がそろった。多くの保護者と教頭先生をはじめとする先生方に見送られ、二度と帰らぬ思い出乗せて、双葉東小学校修学旅行団がバス3台連れだって双葉東小学校を後にした。

前日5校時に修学旅行結団式を行った。5年生の後半から取り組んできた修学旅行前日だけあって、浮わつた様子はない。質の高い6年生なので、私の話では、五感と五体を使った修学旅行にすることはもちろん、『眼聴耳視』の修学旅行にしようということ話を話した。話している間も、一斉にこちらを見つめるまなざし。聴こうとして揺れる耳。生き生きとした目と耳の101名の6年生の集団であった。その時私は、修学旅行中、添乗員を含め110名の修学旅行団皆でく眼で聴き耳で視ることが出来るような気がしてきた。心が響き合えることを確信した。何をく聴くのかく視るのかは5年生からの学習で身に付いているはずである。次に各クラスの決意発表があった。1組代表は「ぼくたち1組はこの修学旅行を通して、友情を深め楽しく学ぶ修学旅行にしたいです」と発表した。2組代表は「私たち2組は、昨年林間学校で学んだことを生かし、鎌倉自主見学などを仲間と協力し合い、楽しい修学旅行にすることを誓います。」と発表した。3組代表は「私たち3組は昨年度の林間学校で学んだチームワークを生かし、修学旅行の中でその力を発揮し、目当てを元に精一杯がんばりたいと思います。」と発表した。修学旅行のテーマは「聞いて、見て、体験して、楽しく学ぶ修学旅行！」であり、約束は・5分前行動をしよう。・自分勝手な行動をしない。・礼儀正しくしよう。ということであった。段取り八分とよく言われるが、既に修学旅行の成功は約束されていた。



3組3台のバスなので、一日目の出発の日は1組のバスであった。3日間バスを移動することになった私にとっては、各クラスの様子を知るよい機会であった。昭和インターから高速に乗ると、さっそく低調なクラスの様子を察知した担任の竹野先生がマイクを握り、シュプレヒコールを行った。「元気で行こうー！」「オー！」「今日は修学旅行だぞー！」「オー！」。これで1組全員目が覚めたようであった。ガイドさんがタジタジになるほどの名司会でレクが始まった。歌集が渡され、バスの中は歌で盛り上がったが、渡された歌集の中には私の知っている歌は一つもなかった。あつという間という言葉がふさわしく、ほぼ予定通り鎌倉円覚寺に到着した。円覚寺だけはガイドさんの説明を聞き、ここから班ごとに自分たちの計画したコースに従い、鎌倉自主見学に出発していった。引率教師7名も八幡宮・小町通り・鎌倉駅・長谷寺、そして14:15最終集合場所の高徳院大仏前のチェックポイントに子どもたちの様子を観察しながら散っていった。この修学旅行で先生方が一番緊張する場面でもあった。チェック忘れの班もあったが、無事時間通りに大仏さんと一緒に集合写真に収まった。そして次の見学地新江ノ島水族館に向かった。そしてイルカショー直前に滑り込んだ。おそらくイルカの生態や調教の様子を事前学習に取り入れた学校は全国を探してもそうないだろうと思われる。その効果が、子どもたちが目を輝かしている様子から伺えた。おそらくその会場内では1番興味を持ってイルカショーに見入っている集団であったはずである。講師をしていただいた保護者でもある篠原さんに改めて感謝したい。

そして隣接している江ノ島海岸に降り立った。海なし県で育った者にとっては、なぜか海に対して恋に似たものを感じる。その証拠に、子どもたちは眼をららんと輝かせ大きな歓声があちこちで上がっていた。多くの子どもが裸足になり波と戯れていた。その間何分であろう、ぽつぽつと雨粒が落ちてきたと思った瞬間、土砂降りの雨になってきた。森本主任の笛が鳴り響く。まさに撒収である。バスまでの距離はおよそ200mである。傘のない私を哀れに思ってくれたのか堀之内先生が傘を貸してくれた。私は一足先に、子どもたちが道に迷いそうな角に立った。その角がいけなかった。海から陸にかけ吹き抜けになっている地点なので雨が横から降ってくる状態であった。文句を言えた義理ではないが、傘も小さかった。上着を通して下着が濡れてくることを自覚するのはあまり気持ちいいものではない。ちなみにその夜、ズボンに寝押しし、翌日の体面は何とか保った。旅行団皆ずぶ濡れになりながらも島内にある恵比寿屋に到着した。そして即入浴することが出来、おかげで一人として風邪を引く者はなかった。その後の夕食も皆明るく元気良く、もりもり食べていた。私は堀之内養護教諭が満面の笑みを浮かべていたのを見逃さなかった。



修学旅行二日目、空は雲が覆っているものの高く明るい。その後の天気を保証し

ていた。そして予定通り 8:00 に江ノ島を出発した。神奈川県から東京都に入り、上野にある国立科学博物館に向かう。バスは2組2号車に乗った。朝のあいさつも小さく増坪先生の指示で何度かやり直しをさせられた。レクに入っても係が必死になっているがなかなか盛り上がらない。ガイドさんがたまりかねてマイクを握る。「昨日約束しましたね。バスの中では寝かしませんよ。」そして夜中や朝方に子どもたちと出会ったことを話す。子どもの名前まで覚えていてくれるベテランガイドさんに驚いた。約束を守らないと一番大変なのは自分であることを実感させられるスタートであった。しかし、子どもたちの回復は早く、一番大変そうなのは、寝かしつけるのに必死になっていた各担任に違いなかった。増坪先生のめがねに隠された目元には、しわが一本増えていた。ガイドさんの名解説と歌にうっとり聞き入りながら国立科学博物館に到着。10:00 にはグループごとに地球館・日本館の中にそれぞれ散っていった。地球の歴史、日本列島の成り立ち等を膨大な模型や、実物展示物から学習した。12:30 には昼食場所の両国に移動し、ちゃんこ鍋を堪能する。本格的なちゃんこ鍋ではないが、味がとてもよく、子どもたちはほとんど残すことなく食べ尽くした。そして徒歩で2番目の見学地「江戸東京博物館」に到着。江戸時代の東京の様子や庶民の生活を学習した。なんと特別展として『坂本龍馬展』が開催されており、しかもその日を入れ3日間だけ実物の写真がみられるというものであった。しかも子どもたちは常設展のチケットで無料見学できるという、まさにダブルラッキーであった。ただし引率教師にはその特典がなく、私は1,200円払って入場した。グループ見学だけにどこをどのように観るのかは自分たちで決定するだけに、特別展を観なかったグループも当然あった。私にとっては生唾ものであるが、子どもたちにとってはちょっと難しかったかもしれない。そしてこの偶然を考え『この6年生の中から坂本龍馬のような人物が現れるかもしれない』などとバスの中想像しながら、本日最後の見学地である国会議事堂に到着した。国会議事堂内は国会情勢と見学団体多数のため、通常1時間かかるところ30分の堂内案内で、吹き抜けのように通りすぎた。文句の言えない場所でもある。そしてフジテレビで買い物をし、そこからゆりかもめに乗り、18:30「ホテルサンルート有明」に到着した。真新しいホテルであり、もてなしにも心がこもっていた。夕食は本格的？コース料理とテーブルマナー学習で2時間を費やした。子どもたちにとってはたぶん初めての体験だけに、食い気との戦いの時間だったかもしれない。これも確実に記憶に残って行くに違いない。あまりにも美しい廊下にトラック競技者気取りになってしまい、他の客やホテルに迷惑をかけてしまった子どももいたが、その夜は身をもって知った前夜の反省と快適なベッドに先生方の活躍の場は奪われた。

修学旅行最終日の朝、気分と同じく快晴であった。豪華バイキング形式の朝食に子どもたちは大満足していた。エビを朝から何匹も平らげていた子どももいた。美しい計画都市お台場周辺を車窓から眺め、終日体験場所の『キッザニア』に向かう。三日目は3組のバスであった。バスに乗り込むといきなり担任の小俣先生に話しかける子どもの声が聞こえてきた「先生！修学旅行ってこんなに楽しいんだね〜」。後ろを向くと、目をらんらんと輝かせて話している姿に、十分な満足を味わっている様子が良くわかった。8:30 キッザニアには2番目に入った。約90職種のミニ職業体験をさせてくれる施設である。キャリア教育の重要性が叫ばれている昨今だけに利用する小学校がますます増えることが予想できる。入って30分後には人（主に小学生と引率教師）であふれかえていた。働きに応じキップという通貨ももらえ買い物も出来る仕組みになっている。本部席を設けほとんどそこにいたが、子どもたちの張り切りぶりが手に取るようにわかった。

永遠に修学旅行を続けたような子どもたちの未練を断ち切り15:00 双葉東小学校へ向けて3台のバスが帰路についた。昨年の新型インフルエンザ流行下での修学旅行を考えると、精神的安定感は間違いであった。名ばかりの団長の下、無事修学旅行を終えることになったのも、3名の担任はもちろんのこと、報告・連絡・指示をきびきびとし団を取り仕切っていた主任の森本先生、出発式から帰校式までコマネズミのように動き回り、プロ顔負けの腕で写真を撮ってくれた大柴先生、保健救護ばかりでなく雑用全般に活躍してくれた堀之内先生、そして添乗員のおかげである。何より、素直で優しく、どこに行っても時間を守りあいさつの良く出来た、礼儀正しい101名の子どもたちに感謝したい。

1 学年 P T A 奉仕作業ありがとうございました。

P T A 保体部の事業として、5月22日(土)朝6時~7時の1時間、P T A 本部役員・保体部員、1年生の保護者を中心に奉仕作業が行われました。各教室・正面玄関窓ガラス、エアコンフィルター・蛍光灯・トイレ・流し台清掃を100名を越す人数で、しかも危険を伴う作業や腰を痛めるような作業などを一生懸命行っていただきました。月曜の朝、子どもたちが「うわーきれいになった!」「明るくなった!」と口々に言っていたと担任から報告がありました。保護者の皆様への感謝の気持ちが学校全体を包み込みました。ありがとうございました。



お知らせです。~学校への自転車乗り入れについて~

これまで自転車乗り入れは、安全確保とグランド保護のため、原則として乗り入れ禁止にしていました。しかし、東門外側に駐輪していた自転車いたずら事件が4月以降2件発生しました。そこで防犯上今後、帰宅後の学校への乗り入れ駐輪は、プール前広場・理科室前とすることに決定しました。3年生以上が対象になりますので、担任から子どもたちへ詳しく説明してあります。

自転車の乗り方については、ヘルメット着用を含め道路交通法を遵守しなければなりません。学校でも交通安全教室等を実施するなど指導をしていますが、各ご家庭でもよろしくお願いします。